

産業教育振興中央会・経済同友会共催

専門高校生徒の研究文・作文コンクール 受賞作品が決定

経済同友会は昨年度から、産業教育振興中央会と共催で「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」を開催している。これは目指すべき社会像を幅広いステークホルダーと共に探る「みんなで描くみんなの未来プロジェクト」の一環だ。今年度は全国から研究文45編、作文228編の応募作が寄せられ、経済同友会賞として研究文3編、作文4編を顕彰した。



岩手県立水沢農業高等学校 校長・生徒と小林いずみ審査委員

「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」は、専門教育を主とする学科で学ぶ高校生たちの学習意欲を高め、専門高校の活性化を図ることを目的として、産業教育振興中央会が1982年から主催してきた。

経済同友会は、専門高校生の研究や学習成果を経済界からも応援し、広く社会の関心を高めることを狙いとして、賞を設けた。活力ある社会を築く上で、仕事に直結する技術や知識を学ぶ専門高校生の役割は大きいと見るからだ。

経済同友会と教育現場の交流は1999年から始まり、会員による出張授業など、過去に2,000回を超える活動をしてきた。2011年からは震災復興プログラム「IPPO IPPO NIPPONプロジェクト」を始め、東北や熊本など被災地の専門高校に学習機材を提供し、将来の日本の産業・企業を支える専

門高校の重要性を再認識した。

コンクールは、専門教育に関する研究文と作文の2部門。前者は、個人やグループで、研究や実験、調査などの成果をまとめる。後者は個人が将来の仕事への抱負や決意などを述べるもので、3月に告知し4月から9月まで募集した。

全国から集まった作品の中から入選作と各賞を選んだ。産業教育振興中央会は、研究文の部と作文の部で、最優秀賞各1編、優秀賞各2編、佳作11編の計17編を入選作とした。経済同友会賞は、経済同友会審査委員会(委員長:横尾敬介副代表幹事・専務理事)が、テーマの妥当性、論理性、独創性、説得力、将来性の五つの視点を基に審査、研究文3編、作文4編を選出した。

経済同友会賞の受賞作品は、当会ホームページに掲載、また、全ての入選作は、産業教育振興中央会が発行する『翔, 第28集 専門高校生徒意見・体験発表文、研究文・作文集』(同会刊)に収められる。

審査委員会

※敬称略。役職は開催当時



審査委員長

横尾 敬介

副代表幹事・専務理事/広報戦略検討委員会 委員長

審査は11月9日に行われた

審査委員

小林 いずみ

副代表幹事/教育革新委員会 委員長(ANAホールディングス/みずほフィナンシャルグループ/三井物産 社外取締役)

志賀 俊之

学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長(日産自動車 取締役)

審査委員長 講評

副代表幹事・専務理事 横尾 敬介

経済同友会は、昨年度と同様に「みんなで描くみんなの未来プロジェクト」の一環として、若い世代の日ごろの研究・学習成果と彼・彼女らが描く将来の夢に経済界からもエールを送りたいとの趣旨から、本コンクールを共催しています。

研究文の部は、高校生らしい発想から生まれたテーマか

小林いずみ審査委員が賞状を授与 (岩手県立水沢農業高等学校)

1月11日、小林いずみ審査委員が岩手県立水沢農業高等学校で開催された授賞式にて、受賞生徒に賞状と楯を授与した。その後の講演会では、「イノベーションは、新しいテクノロジーだけで生まれるものではなく、誰かが潜在的に求めていることを見つけ、どのようにそれを提供すれば喜ばれるのかを考えることだ。そういった種は、皆さんが住

んでいる地域にたくさん眠っている。貴重な資産を活用して地域を活性化し、全国、そして世界に発信していただきたい。豊かな自然に恵まれ、伝統ある町で育ったことを誇りに思ってもらいたい」と述べた。また、「自信を持って自分ならではのものを生み出していく、カッコいい大人になってほしい」と生徒たちにエールを送った。

「経済同友会賞」受賞作品

研究文の部

岩手

食卓に彩りを

～赤ネギの魅力を探る～

岩手県立水沢農業高等学校

【農業科学科 3年】堀金 椎乃さん、阿部 廉さん、兒玉 暉さん、笹原 龍輝さん、佐藤 彩さん、村上 果蓮さん

兵庫

エネルギー自立社会をめざす マグリウス風力発電機の開発

兵庫県立洲本実業高等学校

【電気科 3年】谷岡 涼さん、古岡 大輝さん、松本 和太さん、緑樹 宏斗さん、山本 碧さん

愛知

ウナギの完全養殖への挑戦 その2

愛知県立三谷水産高等学校

【海洋資源科 3年】沓名 駿介さん、関 祐輝さん、東出 滉大さん、三矢 龍志さん、金田 美波渡さん



岩手県立水沢農業高等学校 授賞式



愛知県立瑞陵高等学校 山本 晶子さん



岐阜県立大垣桜高等学校 新川 菜奈さん

作文の部

愛知 私、これに決めました！！

愛知県立安城農林高等学校

【動物科学科 2年】中山 未宙さん

三重 簿記を勉強することが私にくれたもの

三重県立宇治山田商業高等学校

【国際科 3年】小堀 咲楽さん

愛知 苦しい日々を乗り越えた先

愛知県立瑞陵高等学校

【食物科 3年】山本 晶子さん

岐阜 Never give up on a dream! 決して夢をあきらめないで！

岐阜県立大垣桜高等学校

【福祉科 3年】新川 菜奈さん

ら高度な専門知識を要するテーマまでありましたが、研究の伸び代が期待でき、将来性が感じられる作品を選出しました。地場産業の活性化や、ビジネスへの広がりをも期待できる素晴らしい研究には、次代を担う若者たちの意欲が溢れています。

作文の部では、将来の夢が明確に示され、今後の成長が十分に期待できる作品が選ばれました。清らかな心で、時に悩みながらも成長していこう、未来を必死につかみ取ろうと努力をする姿に、審査委員の目頭が熱くなるようなこ

ともありました。

今回の審査を通じて、専門高校生徒が意欲的に学ぶ姿、未来に向かって羽ばたいていく姿が感じ取れました。これからの時代は、志と自立心を強く持って道を切り拓いていくことが大切ですが、その萌芽を見ることができたのは、私たちにとっても大きな喜びです。今後も「素直で真っすぐな心」「挑戦し続ける心」を持って、充実した高校生活を送ってほしいと願っています。来年度は、どんな志に出会えるのでしょうか。楽しみにしています。